

INUTOBI

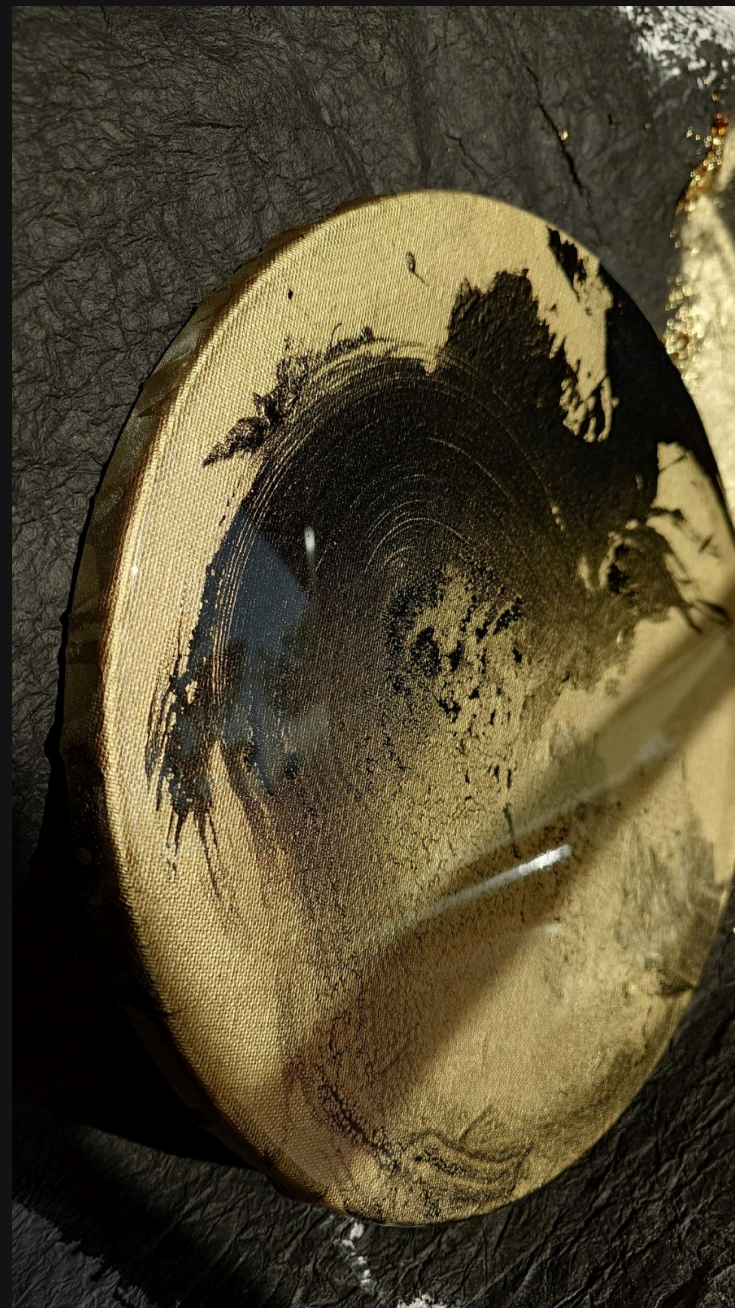
— ARTIST PORTFOLIO

書家・AIクリエイター いぬとび

墨象を、まだ誰も
見たことのない芸術へ。

手描きの墨象をもとに、さまざまな表現へ。

PORTFOLIO 2026



アーティストステートメント

墨象を、
まだ誰も見たこと
のない芸術へ。

創作の根底にある思想：
「負の感情と共に生きていく勇気」

私は 2017 年、40 歳で書道を始め、墨と筆で描く墨象を紙だけでなく、布や衣装、映像、音楽、空間表現へと広げてきました。

創作の根底にあるのは「負の感情と共に生きていく勇気」です。書道瞑想も、この考えを育ててきた背景の一つです。

2026 年には、自分の墨象作品を人がまとめて見せる展示会「墨象百鬼夜行」を企画・主催しました。作品をまとう演者や参加するスタッフとともに、一つの作品をつくる楽しさを知りました。

墨象と書は自分の手で制作しています。これからも異分野の人との出会いを通して表現を探り、将来は総合芸術の展示会や個展に挑戦したいと考えています。

生成 AI は映像や音楽の制作に使い、手描きの墨象を中心に表現を広げています。

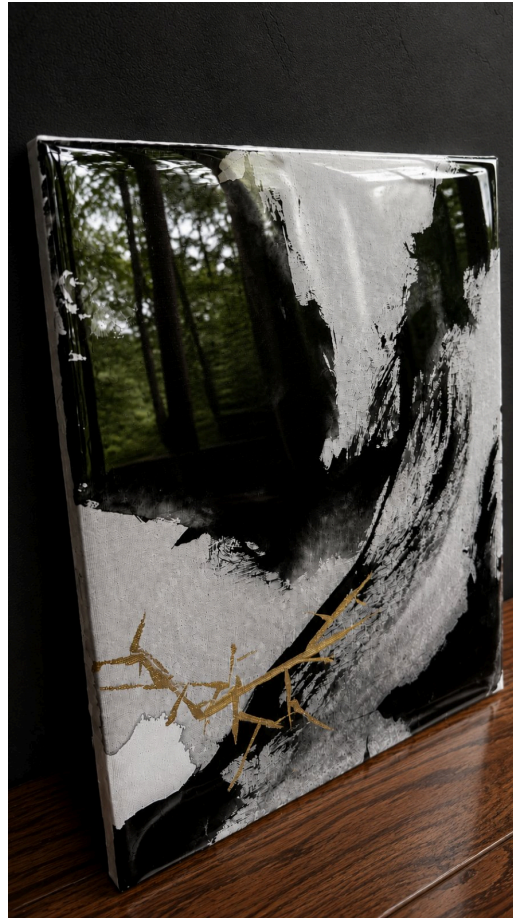
墨象平面作品

大筆で描く墨象作品です。墨の勢い、黒・白・金の対比、筆の跡や素材の質感を生かし、立体や空間へ広げています。



墨象平面作品

手描きの墨象による平面作品。



墨象平面作品



墨象平面作品 / 表面の質感

素材を生かした制作

オーガンジー / シフォン
サテン / 厚手和紙

光を通す布や、折ったり重ねたりしたときの表情、厚手和紙の質感。素材ごとの特徴を生かし、手描きの墨象を衣装や空間に広げています。

布の制作基準	長さ 約 5m 幅 最大約 1.5m
制作時間	乾燥を含め約 2 日間
厚手和紙	約 60 × 150cm

寸法と時間は制作の目安で、写真の作品ごとの数値ではありません。



布の重なり・墨の濃淡・扇に描いた筆の跡



墨象を描いた布と扇
布と扇を組み合わせた構成

墨象百鬼夜行

人がまとう、 墨象作品の展示会。

「墨象百鬼夜行」は、いぬとびが制作した墨象作品を人が衣装としてまとい、ファッションショーのように見せる展示会です。

紙や布に描かれた作品は、まとう人の動きに合わせて見え方が変わります。人の身体を通して、墨象作品を鑑賞できます。

企画・主催はいぬとびが担当し、集客・運営も一人で行いました。演者やスタッフが参加し、音楽や身体表現、会場の演出を組み合わせた墨象作品の展示を実現しました。

2026年8月 / 福岡県嘉麻市

会場：梅ヶ谷酒造

後援：嘉麻市



墨象作品をまとう参加者。いぬとびと表現者たちでつくった展示会の記録。

墨象百鬼夜行 | 作品をまとう身体



鬼とスタッフ

いぬとびの墨象作品を人がまとい、動く姿を見せる展示です。人の動きによって、布の重なりや作品の見え方が変わります。

当初スタッフは0人でした。AI映像で世界観を伝え、スタッフを募集しました。

墨象制作と企画・主催・集客・運営はいぬとびが担当。演者やスタッフが参加し、人が作品をまとう展示会を実現しました。

いぬとび：墨象制作・企画・主催・集客・運営。
演者・スタッフが参加。



身体に書をまとう鬼



花魁鬼

異分野との協働 | 墨象百華

hanamore はなもあ
× いぬとび

花の作品は hanamore はなもあ、墨象作品と衣装はいぬとびが制作しました。

花と墨象作品・衣装を組み合わせ、一つの作品をつくりました。異なる分野の作家が、互いの得意な表現を生かして制作した共同展示です。

2026 年 10 月 14 日（水）～17 日（土）
門司港レトロ フラワーエキシビション
（グループ展）
大連友好記念館（福岡県北九州市門司区）

花の表現：hanamore はなもあ
墨象アート・墨象衣装：いぬとび



花と墨象衣装



花と墨象作品

AI 映像・音楽表現

墨象の世界観を、 映像と音へ。

手描きの墨象作品をもとに、生成 AI を使った短い映像や音楽を制作しています。

映像と音楽は自分で制作し、一つの作品にまとめています。AI は、手描きの表現を広げるために使っています。

AI 動画は、表現したい世界観を人に伝えるためにも活用しています。手描きの墨象作品や実際の展示記録とは分けて紹介しています。

活用ツール：Midjourney / KLING / Suno

AI 映像作品

外部リンクは掲載していません



AI 映像作品より / 00:00.5



AI 映像作品 / 提供画像

創作の背景 | 書道瞑想

書くことから、 墨象の表現へ。

書道瞑想は、書くことで自分の気持ちや問いに向き合う活動です。創作の考え方の背景にもなっています。

書道瞑想と墨象百鬼夜行は、どちらも「負の感情と共に生きていく勇氣」という考えから生まれました。書く活動と、作品を人がまとう展示を通して、この考えを表現しています。

書家としての経験や考えをまとめ、2025年7月にKindleで著書を出版しました。



2025年12月 / 書道瞑想教室の記録



PUBLICATION / KINDLE

書道瞑想 Sho-mèi:
ACT から生まれた、
新しい書の瞑想習慣。

著者：いぬとび / 2025年7月出版

経歴・活動実績

いぬとび / INUTOBI

書家・AIクリエイター。2017年、40歳で書道を始めました。紙や布に描く墨象を衣装・身体・空間へ広げ、
「墨象百鬼夜行」を企画・主催。AI映像・音楽を制作しています。

主な活動

2023 年 3 月	書道教室を開設
2025 年 3 月	オンラインペン字教室を開催
2025 年 8 月 30 日	対面ペン字教室を開催（飯塚市）
2025 年 12 月	書道瞑想教室を開催
2025 年 12 月	メキシコの日本語学校でオンライン書道イベント
2026年1月～10月	フレーム書道 / 企画・主催・集客・運営（計10回実施）
2026 年 8 月	墨象百鬼夜行 / 作品展示・企画・主催・集客・運営（本人） 梅ヶ谷酒造（福岡県嘉麻市） / 嘉麻市後援
2026 年 9 月	短編映画『手紙』 / 美術として作品提供
2026 年 10 月 14 日～17 日	墨象百華 / hanamore はなもあ × いぬとび 門司港レトロ フラワーエキシビション（グループ展） 大連友好記念館（福岡県北九州市門司区） 花の表現と墨象作品・衣装を組み合わせた共同展示

PUBLIC EDITION

ACTIVITIES

RECORD

2026年10月まで
過去の活動実績を
掲載しています。